

## 未来へ ～被災地訪問と 3.11 キャンドルナイト～

東日本大震災から 14 年目。3 月 9 日～10 日にかけて、高校生有志 32 名(引率教員:芦村、歌田)が、気仙沼市から釜石市にかけて「被災地の今」を訪問し、語り部の方々から当時のお話をお聞きしたり、復興へ向けた取り組みなどを見学して来ました。気仙沼市では震災伝承館として保存されている宮城県気仙沼向洋高等学校旧校舎を訪れ、震災当時の記録映像を見たり、写真や資料で当時の様子に思いを寄せました。また、釜石市鶴住居地区では震災語り部ガイドの方から説明を受けながら、小中学校生が避難した道などを追体験してきました。期せずして、大船渡市の山林火災消火のため東日本の各地から駆けつけた消防関係の多くの車両を釜石市に集結している様子も目にしました(写真背後)。

続いて、3 月 11 日の夜には、被災地への鎮魂と祈りを込め、「希望の明日へ」と向かう願いを込めて、生徒達の手で恒例となっているパルテノン多摩前でのキャンドルナイトを開始しました。被災地訪問の様子も簡単ではありますが、パネルにして展示し、募金活動も行いました。

